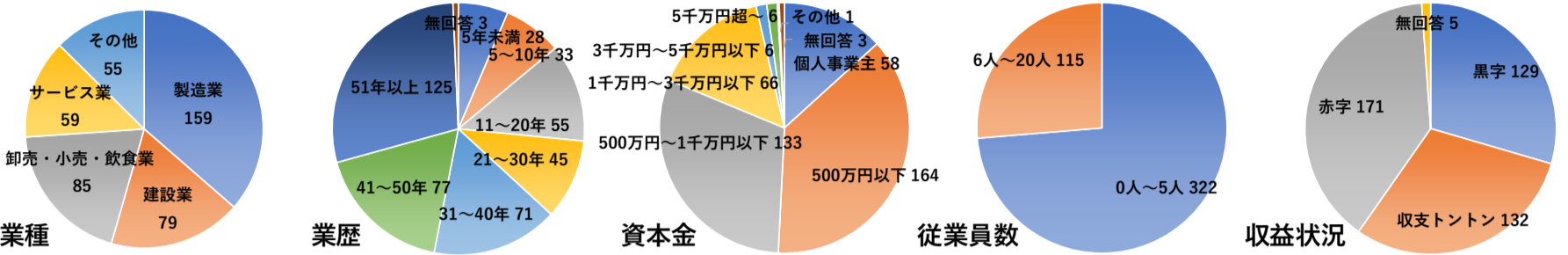


売上高DI、採算DI、業況DIの先行きが上昇しているものの、仕入単価DIは下落が続いている。業種別では、卸売・小売・飲食業は他業種よりも状況が厳しい。

調査概要

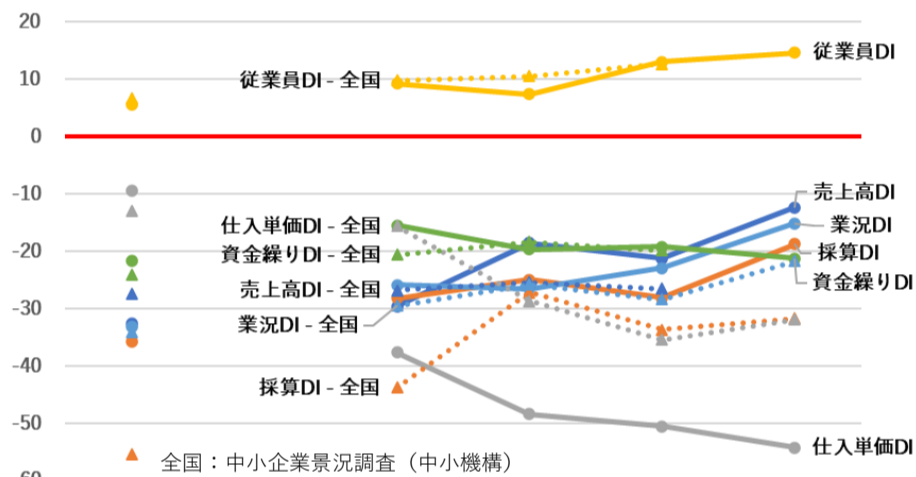
調査期間： 令和3年10月18日（月）～10月29日（金）
調査対象： 会員事業所3,234件（市内小規模事業者）

調査方法： FAX・メールによる送付、FAX・Webによる回答
回答数： 437件（回答率：13.5%）



全業種DI

- 売上高DI、採算DIを見ると、今期（7-9月）は前期（4-6月）から約3ポイント下落しているものの、先行き（10-12月）では、今期から約9ポイント上昇している。また、業況DIを見ると、前期から約4ポイントの上昇がある上、先行きも今期から約8ポイント上昇している。
- 一方、仕入単価DIは仕入単価の上昇により、下落傾向となっている。
- また、資金繰りDIも先行きが今期から約2ポイント下落している。

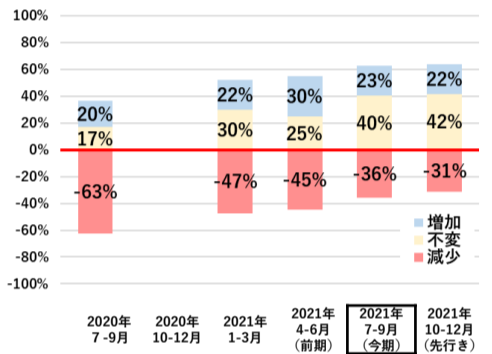


業種別景況（グラフ：売上高）

製造業 (n=159)

	今期	先行き
売上高DI	▲ 13.2	▲ 9.4
採算DI	▲ 21.4	▲ 17.0
仕入単価DI	▲ 66.7	▲ 72.3
従業員DI	10.1	15.7
業況DI	▲ 13.8	▲ 15.7
資金繰りDI	▲ 18.2	▲ 18.9

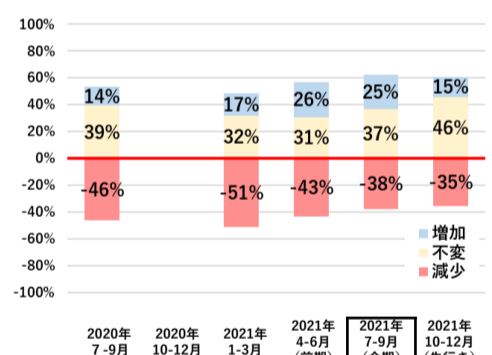
製造業では、売上高DI、採算DIの先行きに今期からの上昇が見られるが、他業種よりも仕入単価DIが低い。



建設業 (n=79)

	今期	先行き
売上高DI	▲ 12.7	▲ 20.3
採算DI	▲ 21.5	▲ 27.8
仕入単価DI	▲ 49.4	▲ 54.4
従業員DI	30.4	29.1
業況DI	▲ 22.8	▲ 16.5
資金繰りDI	▲ 20.3	▲ 22.8

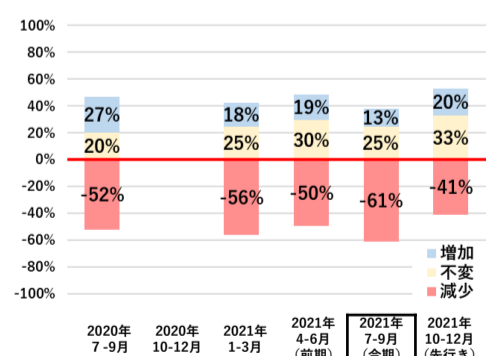
他業種では売上高DI、採算DIの先行きに今期からの上昇が見られる中、建設業は下落。仕入単価DIも低め。



卸売・小売・飲食業 (n=85)

	今期	先行き
売上高DI	▲ 48.2	▲ 21.2
採算DI	▲ 51.8	▲ 28.2
仕入単価DI	▲ 55.3	▲ 52.9
従業員DI	5.9	5.9
業況DI	▲ 42.4	▲ 18.8
資金繰りDI	▲ 24.7	▲ 27.1

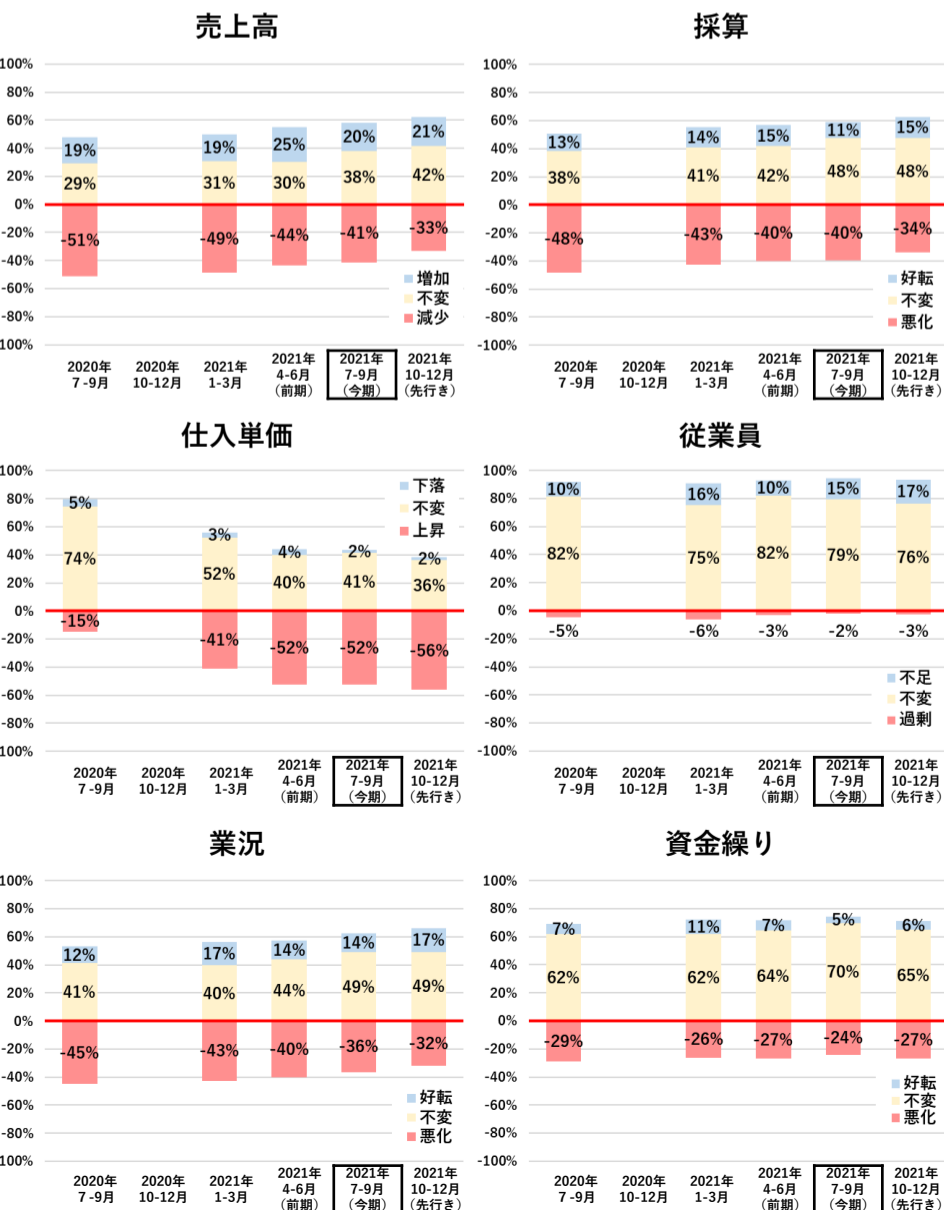
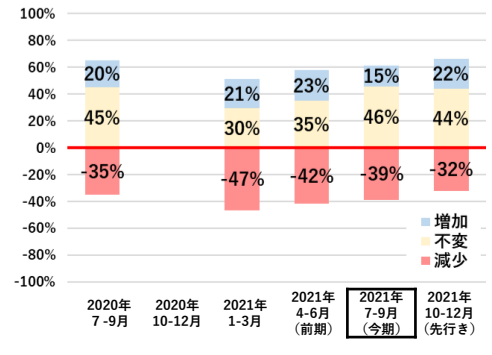
先行きに上昇は見られるものの、今期は厳しい。売上高、採算、業況、資金繰りDIが他業種より低い。



サービス業 (n=59)

	今期	先行き
売上高DI	▲ 23.7	▲ 10.2
採算DI	▲ 23.7	▲ 13.6
仕入単価DI	▲ 20.3	▲ 30.5
従業員DI	5.1	5.1
業況DI	▲ 25.4	▲ 15.3
資金繰りDI	▲ 10.2	▲ 22.0

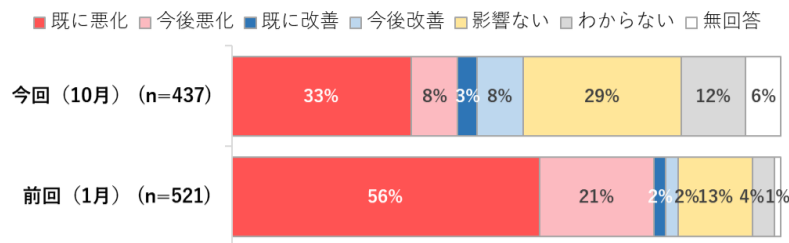
サービス業も先行きに上昇は見られるものの、今期は厳しい。売上高DI、業況DIが他業種より低め。



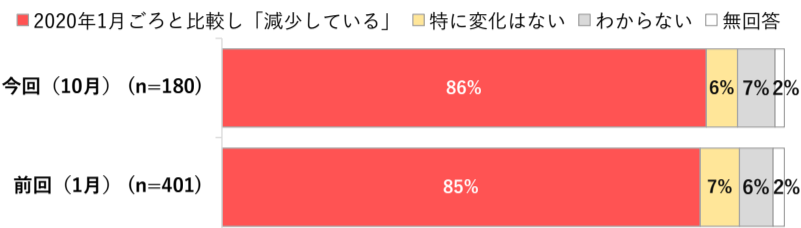
新型コロナによる経営への影響

- 新型コロナによる経営への影響では「影響ない」が前回から増加
- 前回同様、経営が悪化した事業者(見込む)の大半で売上が減少

新型コロナによる経営への影響 (問3)

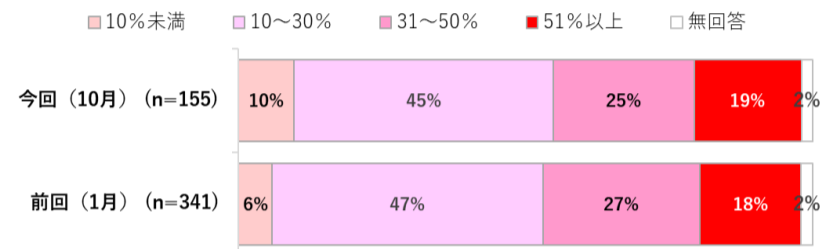


悪化の影響による売上の減少 (問4)



回答者：問3で「既に悪化の影響がある」「今後、悪化の影響が見込まれる」と回答した事業者

悪化の影響による売上の減少幅 (問4)

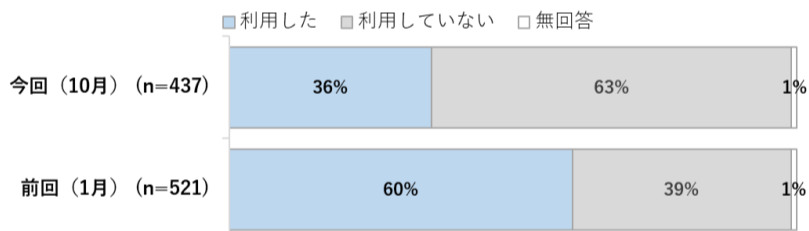


回答者：問4で2020年1月ごろと比較し「減少している」と回答した事業者

コロナ関連特別融資の利用

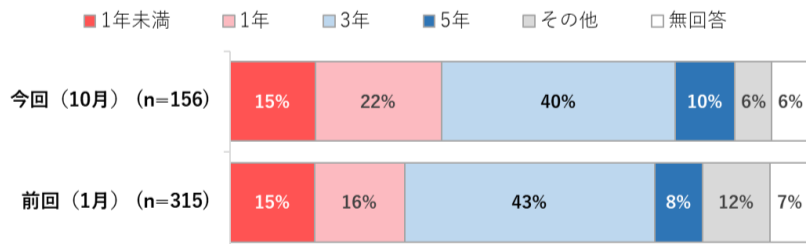
- 特別融資利用者は前回から減少。据置期間では1年以内の場合が増加
- 利用者の8割以上にとって、融資は希望どおりの条件

コロナ関連特別融資の利用 (問5-1)



※前回は昨年の利用について聴取

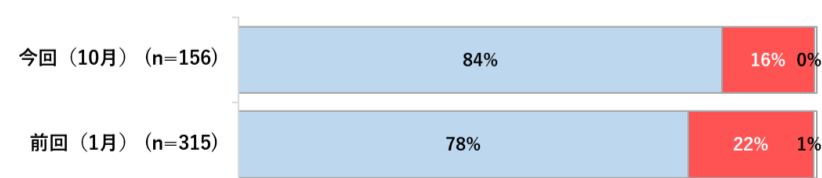
コロナ関連特別融資の利用 据置期間 (問5-1)



回答者：特別融資を利用した事業者

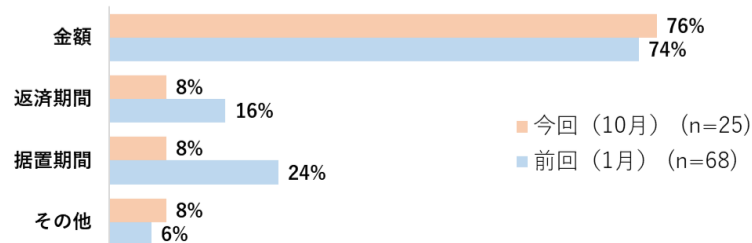
コロナ関連特別融資の利用 (問5-2)

希望通りの条件で融資を受けられたか



回答者：特別融資を利用した事業者

希望と異なった融資条件 (問5-2)

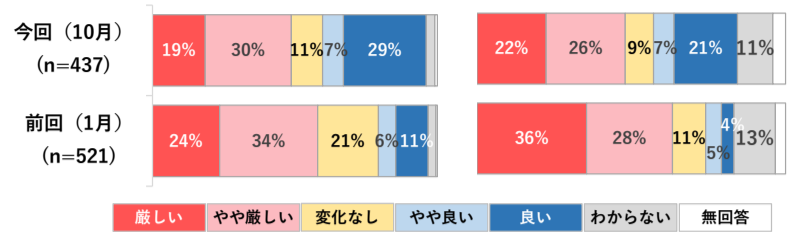


回答者：希望通りの条件で融資を受けることができなかった事業者

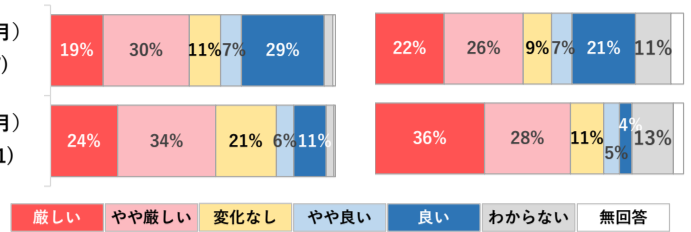
資金繰りの状況

- 現状、今後の見通しともに資金繰りの状況は前回から改善
- 手持ち資金に対する不安でも、「特に心配なし」が増加

資金繰り 現状 (問6)

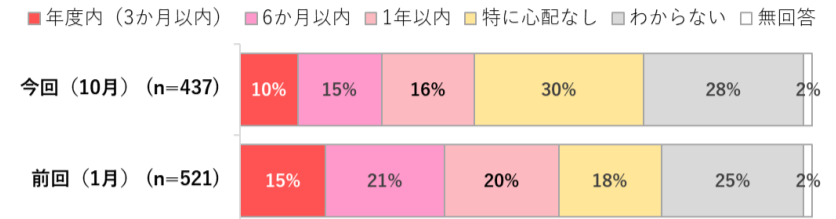


今後の見通し (問6)



厳しい やや厳しい 変化なし やや良い 良い わからない 無回答

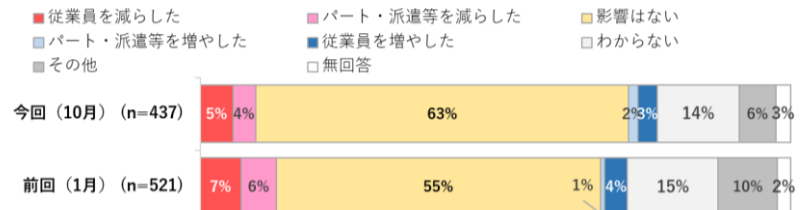
手持ち資金に不安を感じる時期 (問7)



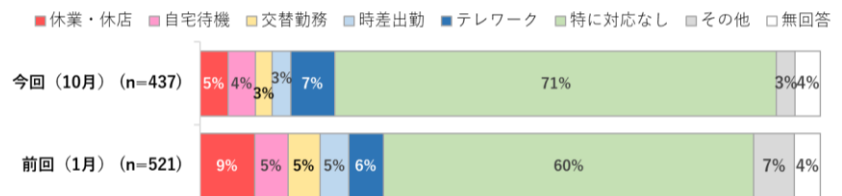
雇用、勤務体制への影響、廃業・休業の検討

- 雇用に「影響ない」、勤務体制に「特に対応なし」が前回から増加
- 廃業・休業の検討でも「ない」が前回から増加

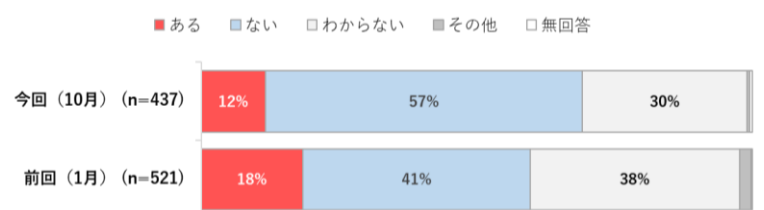
雇用への影響 (問8)



勤務体制への影響 (問9)



廃業・休業の検討 (問10)



期待する公的支援

- 前回同様、「給付金による支援」がトップ、資金繰り関連の支援が上位に入っている

	前回 (1月) n=521	今回 (10月) n=437
給付金による支援	75%	53%
公的制度融資による追加の資金確保 資金繰り関連	35%	34%
借入金の条件変更等による返済負担の軽減	36%	34%
税金や社会保障等の猶予	36%	27%
公的支援施策等に関する継続的な情報提供	24%	23%
雇用調整助成金による支援	29%	21%
人材の確保・定着に関する支援	12%	17%
販路開拓に関する支援	12%	14%
デジタル化に関する支援	10%	10%
マスクや消毒液調達等の感染防止対策に関する支援	10%	8%
労働環境の整備に関する支援	7%	6%
プレミアム商品券発行等の消費喚起	5%	6%
イベント、展示会、商談会等の開催	4%	5%
事業計画の策定・見直しに関する支援	6%	5%
新生活様式下での経済活動の指針・ガイドラインの明確化	7%	5%
サプライチェーンの整備に関する支援	2%	1%
インバウンド需要の創出	3%	1%
BCPの策定支援	3%	0%
その他	1%	2%

項目は今回調査の回答の降順